公益財団法人 日本クリスチャン・ アカデミー機関誌 元総理

2023年2・3・4月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 中村 信博

発 行 所

日本クリスチャン・アカデミー 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 075 (711) 2147

NIPPON **CHRISTIAN ACADEMY**

断を克服し、共生する世界を

:指す運動として、 ドイツと

なしあい」により、対立や分

アカデミー運動は戦後、

動が誕生した時の状況以上 な問いであると思われます。 とへの反省に基づき誕生した るような気がします。 が、拮抗し、せめぎ合って に、戦争の文化と平和の文化 現在の世界は、アカデミー運 動の方向性を考える時、 るのか。今後のアカデミー運 して、教会や市民は何ができ 国家と国家の対立や分断に対 生い立ちとよく似ています。 世界教会協議会(WCC)の 重要

く知られています。その基礎 係、市民レベルの和解の実例 が展開されました。 この条約に基づき様々な事業 和と和解を促進するために、 仏協力条約(エリゼ条約)で となったのが1963年の独 ンスの関係であったことはよ を牽引したのはドイツとフラ です。戦後のヨーロッパ統合 フランスの青年交流に関して まりました。内容はドイツと として興味深い数字に目がと した。ドイツとフランスの平 最近、 顔と顔の見える関

独・仏、どちらかの国に一定す。年間で16万人の若者が 800万人いたとのことで ると、この青少年交流事業 告書が出ました。報告書によ に参加した人が50年間で約 年、エリゼ条約50周年に、 流プログラムです。2013 から30歳までの若い世代の交 青少年交流事業でした。 最も成功したといわれるの 13歳 報

誕生しました。教会が戦争を スイスのキリスト者によって

めることが出来なかったこ

ます。 で約1億5000万人になり 参加経験者とのことです。ド の人がこの交流プログラムの す。独仏各界の指導層の多く 流体験をしたことになりま 期間滞在しながら、 イツとフランスの人口は合計

手を尊重

はなし

せると、約1億7000万日本と韓国の人口を合わ

「これからのアカデミー運動に向け

口 い



同様、 ありません。さらにこの数字 の認識も大きく変わるに違い 朝鮮半島と日本の関係や相互 交流をする計算になります。 事業が実施されれば、 日韓、日朝の間で、 ぼ同じ規模になります。 は約1億4000万人で、 年間約16万人の若者が 同じ交流 独仏間 もし ほ 解できない」と思っていた 運動の1丁目1番地です。「は なしあい」とは、はじめは「理

す。言語や文化を相互に学ぶ ことによって「異質な他者」 160万人の交流になりま 計は15億を超え、10倍の年間 に中国を加えると、 への「恐れ」が軽減されます。 **゙**はなしあい」は、アカデミー 人と人との出会い、対話 人口の合

直接の交

人、日本と北朝鮮の人口合計

財団評議員 Щ 関西運営委員 可回か、1週間、1ヶ月、まは、宿泊が可能です。1年に 国、北朝鮮とは緊張関係が続は戦後最悪と言われます。中 く作業です。 相互に理解しようと努めて グラムができると素晴らし い」、学びと経験交流のプ などをテーマに「はなしあ ながら、「平和・正義・和解」 寝食を共にし、祈りを共にし たちが、少人数でもよいので ラムとして、北東アジアの人 たは、半年、 きます。関西セミナーハウス 始まります。現在、日韓関係 あい」が途絶えたところから て向き合

1年間のプログ

ラムを企画したいと願って による宿泊を伴う対面プロ て、北東アジアからの参加者 ミー運動の一つの可能性とし 近道です。これからのアカデ 見えて、「平和と和解」 くことが、遠回りのように 係が構築され、蓄積されてい と思います。 様々な領域で顔の見える関 へ の

(元関西学院大学教授)

の発題を再構成していただきま た「シュペネマン記念集会」 昨年10 月7~ 8日に開催され で

1人の個が人間とし

しい光彩を帯びて立ち上が たつもりでいた諸作品が、新

改めてその創作の背景や

関東活動センタ

●2022年度 〈連続講座 関東フォーラム (共催:早稲田奉仕園)「宗教対話」=

キリスト教文学に学ぶ

文芸評論家

2022年4月~2023年3月 第3水曜 Zoomによるオンライン開講 (8月12月除く 全10回

講座の第一回で、

要表現の検討

一題の吟味が

講座パンフレットの

語り手の確定、 の紹介、その作品の全体構成 そこから、取り上げる各著者 て発信する文学」と規定する。 こからのメッセージに促され キリスト教や聖書を置き、そ も、その文学的営為の根拠に、 教徒でない文学者であって の文学だけでなく、キリスト きではあるが、キリスト教徒 本においては、という条件付 した上で、柴崎聰講師は「日 いを立て、諸氏の見解を紹介 リスト教文学とは何か」と問 登場人物、

詩 0) 0) 義があっという間に過ぎてゆ の分析は圧巻! 2時間の講 目する「比喩」表現について は詳細を究め、特に講師の注 に取り上げられる。その解説 浦綾子の『氷点』などが、次々 藤周作の『侍』、 さしの『父と暮らせば』、遠 展開される。 く。ずっと昔に読んで、 具体的には、 『南京の基督』『奉教人の 『柳橋物語』、 大岡昇平の 山村暮鳥、 例えば井上ひ 『野火』、三 芥川龍之介 山本周五郎 八木重吉の

もとに重厚な講義が展開され な講義録が配布され、 秘密に迫ることができる。 毎回、よく準備された綿密 それを

> 少ないのが残念。この講座は あって受講者が二〇名前後と なのか、あるいは宣伝不足も るが、全面リモート開講の故

> の受講者を期待している。 されるそうなので、是非多く 来年度も少し形を変えて継続 (戒能信生)

●2022年度 (連続講座) 関東フォーラム (共催:早稲田奉仕園)「宗教対話」=

超入門!西洋美術史―キリスト教を中心として―

2022年5・7・8・10・11月~2023年1・2月(全7回) 山梨県立美術館学芸員 Zoomによるオンライン開講 太田 智子さん

画を見る時のポイントはもち なった古代ギリシア美術か キリスト教美術の土台とも という言葉に惹かれ受講いた ら、…作品の旅を楽しんで…_ になった時の写真や印象、 太田講師ご自身が実際にご覧 しました。 て豊かな知識をもとに、 初回は、 たくさんの画像に加え、 4世紀に発展した

洋美術史の流れを辿りなが 一:西 とても面白いです 情勢なども説明してくださり 「盛期ルネッサンス」の回 建築物・その時の社会

しい見方で印象に残りまし でその後に生みだした作品と が共に活躍した時代と、 ランジェロについては、 ミケランジェロが中心。 に分けて紹介されたのが、 は、ダヴィンチ・ラファエロ・ ミケ 長寿

別の絵画や木彫を見せるリー メンシュナイダーの「マリア の祭壇」やグリューネヴァル した。特に、パネルを開いて に伝わり、 んどで興味深く拝見いたしま 「北方ルネッサンス」の回で それに続く、アルプス以北 初めて出会う作品がほと 独自の展開をした

トの「イーゼンハイムの祭壇」

た。 仏のご本尊があり、そのご本 際に見てみたいと思いまし ているとのお話に、いつか実 いのと同じような扱いをされ 尊は特別の時にしか開かれな には、とても魅せられました。 日本寺院のお前立の後に秘

をビデオでもう一度見直せる ることや、気になったところ を、手元で拡大して確認でき Zoom講座のいいところ 講師の指摘された箇所

ります。 残りの回も楽しみにしてお



2023年度プログラムにも、どうぞ



のフォーラム

は

コ

関西セミナーハウス活動センタ

「人類と福祉─その淵源を探る」●2022年度修学院フォーラム「いのち」第2回

関西セミナーハウス 2022年9月23日(金・祝)~24日(土) 講師 古代オリエント博物館館長 月本 昭男さん

の宿泊室は満室になった。 の人が集まって、準備した23 まったとは言えないが、 ナ感染症は、 え、今日の日を迎えた。コロ の人の寄付により修復を終 いた施設の故障箇所も、 その旨を伝えて1月から準備 このようなフォーラムを開催 フォーラムである。 初めての、 ナーハウスが閉じられて以来 2020年10月に関西セミ してきた。休業中に進行して できることを願って、 / 感染症 の広がりのために 宿泊を伴う修学院 未だ完全に収 秋には、 講師に

きた。人類は、いつから、 を繰り返してきたが、 有の現象だとされた。 50万年前までも遡ることがで を保護することは、 痕跡を紹介し、弱い立場の人 問い、先史時代の「福祉」の にしようとしてきたのか」と ゆえに弱い立場の仲間を大切 る社会を作り上げようとして 来相手を抹殺する暴力や戦争 3回の講演を準備下さった。 を探る」という題を選んで、 めに「人類と福祉-師の月本さんは、この日のた ターに再び灯がともった。講 じられる社会の実現を目指す 月本さんは、「人類は、古 西セミナーハウス活動セン 動物に見られない人類固 弱い立場の仲間を保護す 平和、いのちが重ん ―その淵源 その跡を 一方

法に受け継がれた。モーセ律護の伝統は、旧約聖書の社会古代メソポタミアの弱者保

法は、孤児と寡婦の保護を命にるが、申命記はこれに寄留にるが、申命記はこれに寄留にるが、申命記はこれに寄留にるが、自らを寄留者として理いた。全世界を支配する絶民は神に倣わなければならない、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧められた。この弱者に、と勧めた。それが近い。と勧めた。それが近れてい」と勧めた。それが近れてい」と勧めた。それが近れている。

豊かにされる会であった。 と月本さんは結ばれた。 与えて下さった心の輝きで 進めたのもキリスト者であっ 者に Youtube 配信される。 る。ここに福祉の淵源がある、 である。これは、神が人間に を保護する人間らしさの発露 の内面的働きで、 心」を強調した。「良心」 た。明治のキリスト者は「良 これらの講演は、 共感と深く関わる人間 日本の社会福祉を推し 社会的弱者 後日希望 は

世界のあり方を根源から見直す」 「『食べること』を世界の真ん中において、 ●2022年度「開発教育セミナー」 第4回

京都大学人文科学研究所 藤原 辰史さん

攻で、食料の入手が困難にな

コロナ禍で、

ウクライナ侵

実現していくのだと思えた。

うな様々な試みが折り重なっ る家庭に届かない、行きづら げた。現在各地に子ども食堂 と人を統治する権力のネット ヒトラーは人々を飢えさせな ナチスの台頭を招いたという。 動などが紹介された。このよ トーブを囲んで食べる芸術活 由のイベントや、公園で薪ス 域食堂。さらには飲み食い自 子どもの居場所と連動した地 えば無料食堂や無料冷蔵庫。 てご飯を食べられる場。 を提唱する。だれもが立ち寄っ 題がある。藤原さんは「縁食」 い、資金が続かないなどの課 が誕生しているが、 原さんは、給食の可能性をあ ステムにも見られる。一方で藤 ワーク)は、現在のフードシ に下げた。 ユダヤ人への食糧配給は大幅 奨励した。しかしスラブ人や いと訴え、農産物の国産化を (国家や企業が食を通じて自然 への恐怖が広がったことが 皆が食べていける社会が このような食権力 困って たと Ū



●2022年度 修学院フォーラム「いのち」第3回 禍にある霊性-**ーカイブ**」 今を生き延びるための

ルヒル校人類学専攻博士課程ノースカロライナ大学チャペ 関西セミナーハウスとオンライン 2022年11月5日(土) 本 空さん

もうとしている。「黒人以外 を理解することはできないの メリカでの黒人たちの苦しみ 話された。400年に及ぶア は難しい」との問いを受けて た苦しみや痛みを理解するの の人間が、黒人の背負ってき 黒人神学者故ジェイムス・H・ なった。榎本空氏は、 ZOOM によるフォーラムと れる霊性を問う。沖縄からの 動に触れながら、その中に流 ラック・ライブズ・マター運 コーンのからの問いに取り組 ン神学校で学んだ恩師である 禍を紡ぐ霊性がある。 ユニオ ブ

も踏み込めない日本植民地時 婦との出会いがあり、そこに 係において、自分は何者か、 受苦の歴史を持つ人々との関 して自分のものとはならない 分が深く関わりながらも、 み込めない境界線がある。 の出会い。そこには土足で踏 ニューヨークでの黒人運動と 代の苦しみがあった。 た台湾東部のブヌン族の老夫 た十字架の歴史があった。ま らない苦しい経験を重ねてき た沖縄の伊江島には自分の知 を振り返る。少年期を過ごし こ考えざるを得なかった。 氏は、 これまでの出会い そして

したアリマタヤのヨセフに自 エスの遺体を引き取って埋葬 そして十字架後の土曜日、イ 縄の人、台湾の人に重なる。 て死んでいった黒人たち、 が、拷問を受け、リンチに遭っ -字架にかかったイエスの姿 ヘブライ人の犯罪者として

> 離別し「お前は何者か」と問 として自由でいられる自分と らを重ねる。無色透明な存在 われつつ、つながりを求める。

れた。 を紡ぎたいとする決意が語ら それを自分の仕事として言葉

●2022年度 ともに生きる社会のかたちをみつけよう!」 わたしが見つけた多文化共生 講師 「NPO法人ともにいきる宝塚」理事 2022年11月12日(土)~13日(日) 「開発教育セミナー」 関西セミナーハウス 第5回 藤井 邦洋さん

たのは、

2010年に日系ブ

らう時間となった。

添った活動は多岐に渡る。 たちの放課後スペースや技能 ざして活動している。子ども 多文化共生のまちづくりをめ などのちがいを認めあい、共 実習生の日本語教室、 に豊かにいきることのできる いに国籍、民族、文化、 相談など、個々の事情に寄り 「(特活)ともにいきる宝塚 団体設立のきっかけになっ 藤井さんが理事を務 日本人、在日外国人が互 よろず 言語 める

苦労や、うまく回り出すコツ られなかった。」 思いをしているなんて知らな に外国人住民がいて、つらい 事件だった。「それまで地域 ラジル人少女たちが起こした を聞きたい、という質問に、 かった。知ったら動かずにい 参加者からの立ち上げ時の ●2022年度

> 声をかけたら、人が人を呼ん 藤井さんはさらりと「周囲に 勇気とエネルギーを分けても に感銘を受け、一歩踏み出す バイタリティと柔軟なお人柄 れたからこその展開だ。 報告する」ことを続けてこら 「とにかくどんどん、 りを大切にし、学校や行政に をしながら、人と人のつなが 員や小学生の通学見守り活動 藤井さんがそれまでに民生委 できて回り出す」。それは、 相談や その

めるためのプランを考えて や想いを話し、次の一歩へ進 て気づく機会となった。 み入る感覚の大切さにも改め 取った。互いの想いが心に染 多文化共生の原点となる体験 ハずつ語る時間をゆったりと その後、参加者それぞれが

ティの活動に関わるととも たりセクシュアル・マイノリ 講師の堀江氏は、 性と生を考える―クィア神学の視点から」2022年度修学院フォーラム「社会」第4回 キリスト者の会(ECQA) 代表信仰とセクシュアリティを考える 20年にわ 関西セミナーハウスとオンライン も携わっておられる。 教会の牧師として伝道活動に 世に問われ、さらにキリスト 2022年12月3日(土) 堀江

有里さん

研究を通してこの問題を

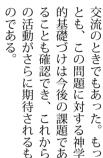
うな堀江氏を通して、

そのよ

が述べられた。 中で問い続けることの大切さ 構造からは自由でなく、 キリスト教会も、伝統や権力 が示唆された。同時に日本の で克服されるものであること エスの出来事に遭遇するなか 的なキリスト教の規範が、イ が示された。そしてこの伝統 規範がこの問題の基礎にあ ち続けたキリスト教の異性愛 と、すなわち社会的に力をも り、その中から抵抗の理論と 教と結びついている現実があ の問題が英語圏ではキリスト してクィア神学が生まれたこ それが問われていること その

相互に刺激が与えられたよき た。闊達な意見交換も行われ 考えさせられた機会であっ ことの必要性を切実に感じ キリスト教の本質に立ち帰る を顧み、それを反省しつつ、 本を含めたキリスト教の実態 性差別の問題を通して、







と10年だ。 るために残された炭素予算 る人類の活動を疑う余地はな の170年間の急激な気温上 動の現状について伺った。こ い。平均気温を15℃に抑え (カーボンバジェット) はあ 第1セッションでは気候変 化石燃料を燃やし続け

と呼べるのではないか。気候 は 平和や人権などに対する脅威 変動が既に世界が抱えている 国が被害を受けている。これ スを排出し豊かさを享受する 方で、排出量が少ない途上 先進国が大量に温室効果ガ 「時間差殺人」「遠隔殺人」

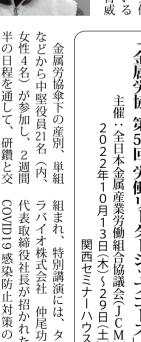
「気候危機から目をそらさない 2022年度 ~待ったなしの10年へ歩み出すときは今~ 2022年12月10日(土)~11日(日) 「開発教育セミナー」 講師 350.org Japan 伊与田 昌慶さん ! 第 6

基金設立合意は歴史的な転換

もらった。気候変動に起因す COP27の最新情報を伝えて 候危機を見える化するイベン multiplier)」の考え方や、気 の紹介もあった。 トアトリビューション(EA) る途上国の「損失と被害」の を拡大する「脅威乗数(threat 第2セッションでは11月の

関西セミナーハウス なった 機関がNGOから批判対象と 融資しようとする日本の金融 アフリカ原油パイプラインに で化石賞を受賞し、加えて東 た。しかし、日本は3回連続 第3セッションでは、

学校の電力会社を変えるよう き、各自でアクションプラン ができた。 ようという気持ちを抱くこと 自が明日からできることをし 大事」などの意見も出て、 スリリースして広めることも に伝える」案に対し、 を立てた。高校生の めの取り組みを教えていただ セントの向こう側を変える (エネルギーの脱炭素化)た 「市長に コン



2022年10月13日(木)~29日(土)

関西セミナーハウス



(協力プログラム) 金属労協 第53回 労働リーダーシップコース」

燃料不拡散条約の要請もあっ だ。また、途上国側から化石

の講義の間には、 流を深めた。 半の日程を通して、 などから中堅役員21名 女性4名)が参加し、 お茶室体験などの時間も 労働運動関連 鞍馬山散 研鑽と交 2週間 (內

単組 組まれ、 代表取締役社長が招かれた。 ラバイオ株式会社 特別講演には、 仲尾功一 タカ

全日程を無事に修了した。 約のある中、各々協力して、 COVID19 感染防止対策の 制

プログラム案内

◆関東活動センター

■ 2022 年度 聖書を読む講座 || (共催:早稲田奉仕園)

「マルコ福音書をジックリと読む」 第5期

講 師:山口 里子さん(聖書学者) 日 時:4月~2023年2月(8月休)

第2火曜18:30~20:00

参加費:全10回8.000円(学生4.000円) 方 法:Zoomによるオンライン講座

■ 2022 年度 宗教対話 II (共催:早稲田奉仕園)

連続講座「キリスト教文学に学ぶ」Ⅰ

講 師:柴崎總さん(文芸評論家) 日 時:4月~2023年3月(8、12月休)

第3水曜

参加費:全10回8,000円(学生4,000円) 方 法:Zoomによるオンライン講座

■ 2022 年度 宗教対話 ||| (共催:早稲田奉仕園)

連続講座「超入門!西洋美術史―キ リスト教を中心として―!

師:太田智子さん(山梨県立美 術館学芸員)

H 時:5月、7月、8月、10月、11月、 2023年1月、2月、最終月曜

13:00~15:00 参加費:全7回6,000円

方 法:Zoomによるオンライン講座

◆関西セミナーハウス活動センタ-

財団本部

http://www.academy-nippon.com 関東活動センター

http://www.academy-tokyo.com 関西セミナーハウス

http://www.kansai-seminarhouse.com/ 関西セミナーハウス活動センター

http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 中村 信博

本部事務局

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 TEL 075-711-2147 FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 1 F TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/ 関西セミナーハウス活動センター

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@kansai-seminarhouse.com 関西セミナーハウス活動センター

> TEL 075-711-2117 E-mail:office@academy-kansai.org

■2022年度修学院フォーラム「福祉」

第3回「生きづらさの声を聴く一コ ロナ禍の子ども・若者の権利侵害」 (共催) 京都 YWCA

師:長瀬 正子さん(佛教大学 社会福祉学部准教授)

時:1月28日(土)13:30~16:30

参加費: 1.000 円 学生 500 円 方 法:会場京都YWCAとZoom併用

第4回「東九条こども食堂の試みから」 師:許伯基さん(前在日大韓基

督教会京都南部教会牧師) 日 時:3月18日(土)13:30~15:50

参加費: 1,500 円 学生 500 円

方 法:会場関西セミナーハウスと Zoom併用

(順不同・敬称略)

000 E

SDGs

◇新刊案内

身近なことから世界と私を 考える授業Ⅲ

「自分ごと」として学ぶ 17 ゴール

SDGs 実践教材集 開発教育研究会著

(明石書店刊) 2022年12月30日発行 1900円 (税別)

◎お求めは、関西セミナーハウス 活動センターまで

賛 助 会 費 ・ 寄 付 金 報 告

2022年10月1日~12月31日

◆財団本部

日本クリスチャン・アカデミー 再興のための募金(寄付)

日立造船労働組合 息井 清司

林 宗一郎 松野 浩行

森 ユキヱ JFE スチール労働組合

中村 信博 戒能 信生

株式会社三原工務店

市川 克彦 石若 義雄 牛尾 宣夫

匿名 武藤 髙司

大角 洋子

株式会社ニチェー京都 西谷 直子

京都みぎわキリスト教会

◆関東活動センター

替助会費 根津 建

立原 敬一 竹中 百合子 島田 治夫 吉田 博

寄付

条谷 泉 川畑泰 濱田 ひろみ 許昌節 増田 博 齊藤 潤

石川 憲彦 萩原 好子

神学生プログラム寄付

根津 建 関田 寛雄 川北 かおり 学校法人西南学院キリスト

教活動支援課 小久保 正

久保田 愛策 外谷 悦夫 松井 直樹 竹中 百合子

島田治夫 吉田 博 東矢 高明

江口 忍 松下 起子 戒能 信生

萩原 好子 島田恒 クリスマス寄付

中井 博雅 河原田 美哉子 松下 起子

小林 誠治 飯田 庸子

恵泉女学園中高・宗教部 日本基督教団鹿児島加治屋 町教会

◆関西セミナーハウス活動セ ンター

賛助会費 黒田 睦子 髙寺 幸子 古賀 暢子 金山 顕子 中上 和子 樋口 よう子

菅 恒敏 白方 誠彌 寄付

> 匿名 家形 日出

和田野 勢津子 月本 昭男

村上 みか

柳井 一朗 杉本 尚司

クリスマス寄付 大門 義和

小久保正 荒井 加代子

中村 信博 浦晴子 多田出 加代子

柴橋 美穂 武山 泰子

宮本 桂子 岩坂 二規・泰子

今川 泰彦 北風 照子

林 律 山本 俊正 竹中 百合子

藤田 恭子 鳥井 清司 堤 龍春

川北 かおり

多木 秀雄 藤田 敦子

真鍋 裕子 延原 正海 坂口 みどり

部 力 根岸 宏邦 丸山 まり子

小﨑 眞 日本キリスト教会吉田教会

井田 光昭 菅原 幸子 斉藤 洋子

脇坂 照世 日野 多栄子 島田恒 田中 義信

伊藤 正子 以上感謝をもってご報告申し上

げます。